

日本写真学会第30回「写真好き」のための定例講演会 東京都写真美術館オリジナルプリント写真展 生誕100年「ユージン・スミス」A Life in Photography 写真展 「アジェのインスピレーション」ひきつがれる精神 写真展

日本写真学会 第30回「写真好き」のための定例講演会は、東京都写真美術館で開催中の生誕100年記念「ユージン・スミス」A Life in Photography 写真展と「アジェのインスピレーション」ひきつがれる精神 写真展の特別観覧を企画しました。本写真展は、一般参加者が多く、今回は、学会単独でのギャラリートークが行えません。集合後に「アジェのインスピレーション」の一般ギャラリートークに参加、「ユージン・スミス」写真展は、自由に鑑賞頂き、流れ解散となります。ご承知願います。なお、定員は限定20名となっておりますので、参加希望の方はお早めにお申し込み下さい。



楽園への歩み、ニューヨーク郊外 1946年©



ウジェーヌ・アジェ《日食の間》1912年 ゼラチン・シルバー・プリント

【開催日時】 2018年1月19日(金) 13:50 集合(時間厳守)

【開催会場】 東京都写真美術館

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

TEL 03-3280-0099

集合場所: 東京都写真美術館 2階ラウンジに 13:50 に集合, 時間厳守でお願いします

地図: ⇒ https://topmuseum.jp/contents/pages/access_index.html

【交通】 JR 恵比寿駅東口より徒歩約7分, 東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分

【プログラム】

1. 3F TOP Collection 「アジェのインスピレーション」ひきつがれる精神

※ 担当学芸員によるギャラリートーク 14:00~

14:00より、担当学芸員による展示解説が行われます。2階ラウンジに13:50で受付時に配布の展覧会チケットをご持参のうえ、3階展示室入口に集合し、一般参加の方とギャラリートークに参加します。

2. B1F 生誕100年「ユージン・スミス」写真展

※ ギャラリートークはございません。自由に鑑賞頂き、流れ解散となります

【参加費】 無料 日本写真学会会員と学生 限定

【定員】 20名限定 (参加される方は必ず事前に申込をお願いします。)

【申し込み】 2018年1月12日までに日本写真学会 HP よりお申込みください。 <http://www.spstj.org/>

先着順で受け付けますが、定員を超えた場合はお断りする可能性があります。あらかじめご了承ください。

生誕100年「ユージン・スミス」A Life in Photography 写真展

W. ユージン・スミス(1918-1978)は、写真史上、もっとも偉大なドキュメンタリー写真家のひとりです。グラフィック雑誌『ライフ』を中心に「カントリー・ドクター」、「スペインの村」、「助産師モード」、「慈悲の人」など数多くの優れたフォト・エッセイを発表し、フォトジャーナリズムの歴史に多大な功績を残しました。とりわけ日本との関わりが深く、17歳のときニューヨークで偶然であった日系写真家の作品につよい感銘をうけ写真の道を志すきっかけとなったこと、太平洋戦争に従軍して、戦争の悲惨で冷酷な現実をカメラで世に伝えんとし自らも沖繩戦で重傷を負ったこと、戦後の日本経済復興の象徴ともいえる巨大企業取材した「日立」、その経済復興の過程で生じた公害汚染に苦む「水俣」の漁民たちによりそった取材などがあります。

本展覧会は、生誕100年を回顧するもので、スミス自身が生前にネガ、作品保管を寄託したアリゾナ大学クリエイティブ写真センターによる協力のもと、同館所蔵の貴重なヴィンテージ・プリント作品を150点展示します。情報あふれる現代社会に生きる私たちにとって、ジャーナリズムの原点をいま一度見つめ直すきっかけになることでしょう。生誕100年 ユージン・スミス写真展 公式ホームページはこちら⇒ http://www.crevis.co.jp/exhibitions/exhibitions_084.html

「アジェのインスピレーション」ひきつがれる精神 写真展

本展覧会はフランスの写真家、ウジェーヌ・アジェ(1857-1927)が後世の写真表現にどのような影響を与えたかについて考えます。当館所蔵の作品と写真集などの資料によって、アジェ自身の作品とアジェ以降の写真家たちの際立った作品を中心に、その輪郭を浮び上がらせようとするものです。

ウジェーヌ・アジェは19世紀末から20世紀初頭にかけて、パリとその周辺を捉えた写真家です。1898年、41歳の時から30年間こたわって8,000枚以上の写真を撮影し、歴史的建造物や古い街並み、店先や室内、看板、公園、路上で働く人々など、近代化が進み、消えゆく運命にあった「古きパリ」を体系的に記録し、図書館や美術館、博物館などの公的機関や画家、建築家等のアーティストたちに販売しました。その顧客にはレオナルド・フジタもいます。

【出品作家】:ウジェーヌ・アジェ、マン・レイ、シャルル・マルヴィル、アルフレッド・スティューグリッツ、ベネニス・アボット、ウォーカー・エヴァンズ、リー・フリードランダー、ジャン・ルイ・アンリ・ル・セック、荒木経惟、森山大道、深瀬昌久、清野賀子 作品158点 および図書資料

定例講演会実行委員会:

実行委員長: 小林裕幸 (日本写真学会会長/千葉大学)

委員: 鈴木博文 (ニコン)、宮田公佳 (ニコン)、井上義之 (パナソニック)、金房邦彦、鈴木敬子 (神奈川県立美術館)、西垣仁美 (日本大学)、松澤良紀 (オリンパスイメージング)、山田勝実 (東京工芸大学)

幹事: 桑山哲郎 (千葉大学)

事務局: 山岸治 (日本写真学会)